

# はばたけ国際社会へ



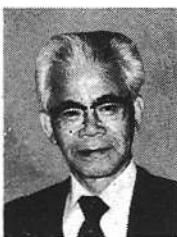
## 卒業生記念号

発行  
洛星新聞局  
京都市北区小松原南町  
☎(463) 3281 (代)  
印刷/有片桐輕印刷

去る二月七日、第二十九回高等学校卒業式が行われ、厳肅な雰囲気の中に無事終了、約二百七十名の卒業生達は高校生活に別れを告げ、新たな第一歩を踏み出すこととなった。

### 国際平和確立のために挑戦する若者に

校長 村田源次



第二十九回卒業生の皆さん卒業おめでとうございませう。私は皆さんが洛星に入學以来、洛星の教育方針の一つである国際性豊かな人間についてしばしばお話ししてきました。なぜ国際人になければならないか。第一の理由は、人類は皆兄弟であるというキリストの教えを私たちは信じているからです。又現代日本の繁栄は、明治の教育改革と、私達の先祖の勤勉さと連帯感によるものだと思えます。即ち、欧米諸国の科学技術を利用しての豊かな日本を作り上げて来たのです。この豊かな日本人に今、世界は何を期待しているのかと考えた事があるでしょうか。世界の人は日本人が自分の国のためだけでなく、世界の人のために人間としての生きる権利を分かち合っている人類が共に豊かになければならない事を期待しているのです。即ち国際性豊かな国民であり、平和確立の協力者であることです。

六十年度は国際青年の年として、青年各自が如何なる夢をもって未来を築いてゆくかを反省させる年でした。今年も国連が国際平和と

全世界の若者たちに次の様に申します。「共に手を取り合って、友情と団結のある未来を作ろうではありませんか。窮乏の中にある兄弟姉妹に手を差し伸べ、空腹に苦しむ者に食物を与え、家のない者に宿を与え、踏みしめられた者を自由に、不正の支配するところに正義をもたらさし、武器の支配するところには平和をもたらそうではありませんか。あなた方の若い精神は、善と愛をおこなう大きな力を持っています。人類同胞のために、その精神を使いなさい。」とお話を忘れずにはなりません。若い人々がこの精神に燃えて団結するならば、各自の内的平和と外的平和は必ず実現するものと思えます。話は少し異なりますが、神が人間に与えた恵みの中で大切なものは、自由と時間だと思いませんか。皆さんもこの時間と自由の精神を大切に、時間と空間を自分のために使うのではなく、国際平和のために活動する計画即ち専門家となる基礎学力を身につけて、未来社会で活動するための主体性ある人格形成に努力されることです。日本の学生に対する批判の一つに、進歩はするが人間的な進歩が研究に専念しないという傾向があります。洛星卒業生は同じ批判を受けてはなりません。どうか洛星で学んだ国際性豊かな人格をつちか、真の平和確立のために働く人になって下さい。

### 第二の青春へむけて

H III A 阿南孝也



卒業おめでとう。人生の中で最も大切な「青春時代」が終了した。第二部に入る前に、洛星での高校生活を振り返って欲しい。洛星の校風・伝統。いろいろ言われるが、要するに「欲張り」なのだと思える。

勉強はそれこそ一生懸命やる。残りの時間をフルに使ってクラブ活動にも精一杯力を入れる。更に学校行事も目白押し。その一つ一つがすごい。文化祭での展示・演劇・合唱、体育祭やタフローと、中学から高校へ、また先輩から後輩へ、ハイレベルなものが積み重なり、伝えられていく。この

勉強はそれこそ一生懸命やる。残りの時間をフルに使ってクラブ活動にも精一杯力を入れる。更に学校行事も目白押し。その一つ一つがすごい。文化祭での展示・演劇・合唱、体育祭やタフローと、中学から高校へ、また先輩から後輩へ、ハイレベルなものが積み重なり、伝えられていく。この

### ひとにぎりの豆

H III B 田中良平



「先生、さようなら」と冷たい水のためになっ赤になつた手をぬぐいながら、最後の掃除当番が帰つていった。ガラッとした教室に一人残り残された、体中の力がぬけて、疲れがドッとふき出てくる。比較山も遠くにかすんでしまふ。「さあ、前のめり用にするか」とつぶやきながら、皆がい

やがてついていた机の間隔をせめてまわる。一つの机に触れると、その生徒がピョコンと飛び出てくるように思えるから不思議なものだ。卒業式の日からこの作業が出来なくなるのかと思うと妙にしんみりとなる。

ふと、私の高校の卒業式に聞いた校長先生の訓話が思い出されてきた。大げさな言い方かもしれないが、

### 卒業

H III C 熊谷春雄



卒業——それは私にとって何か重みと哀愁を感じさせる言葉でした。人口五万ほどの町で育った私は卒業という言葉を何だか経験して来ましたが、小学校はマンモス校だった為、中学進学に際しては、友達と別れ、中学を卒業し、高校に入つた時は、この町は公立高校は一校しかなかった為、中学で別れた友達と再会を喜びあつたものでした。授業は二〇〇分単位の講義制だった為、一〇〇分毎に教室への移動が混雑したものでした。その為大変多くの友達が出来、いろいろの考えの人と話す機会があつたのは私にとって大変よかったと思つています。

と思つています(一学年は六五〇名以上)。その反面自分のクラスという思いはあまりなかったのを反省しています。さて皆さんはこの洛星を巣立つて行くわけですが。大学受験を前にして、卒業の気分などないかも知れませんが、でも大学合格が最終目標とならないよう願ひします。

卒業式——コメンツメント。この言葉は、これから始めること、開始という意味も持つています。学生としての身分に甘えず、大人への出発として、しっかりと明日に向かって、歩んで下さい。そしてまた、他人の痛みがわかる人間へ成長して下さい。

## 担任より卒業生諸君へ

H III D 中村義弘



卒業して校門を出た時、洛星での生活は思い出のアルバムとして、諸君の心に様々な色彩をもつてしまわれるであろう。人生の旅の中で、苦しいことがあつたら、このアルバムの中の楽しかつた一ページを思い出して下さい。

私の思い出の一つ。高校の修学旅行で京都に来て最終日、駅前二時間の自由行動の時間があつた。外は春雨で、級友は近くの寺社やデパートへ行くようであった。私も友人と行くことにした。すると、「君この荷物を持ちよ」とみていて下さい。と見知らぬ大学生に声をかけられた。四、五分の

ことであらうと思つて引き受けたのだが、三十分以上も待合室で一人ぼつねんと座るはめになった。友人と離れてしまつたので、その学生と一時間程様々な話をした。その学生の話は、「今日は様々な考え方があり、それに接することも多様な形で経験するであろうが、大切なことは自分の目で、自分の頭で考えた上で行動すべきである。」というのを聞き、感に入つた思い出がある。

「和而不同」ということばがある。人の和を保ちつつも自分の考えを大切にすることの意味で、その学生もこの様なことを言つたものであろう。

### 時代に生きる

H III E 久保弘雄



「時代に深く生きるとは矛盾することだ」と言つたのは、北欧の哲学者キルケゴールです。たぶん逆説めいていますが、以前気に入つて、ずいぶん長い間この言葉を私の心のなかで発酵させていた時期がありました。

矛盾は自分の周囲にあるだけではなく、自分自身がむしろいろいろな内在させていて、これらを調整しようとしたら、超えようとしながら、毎日暮らしているのが我々の生の実態かもしれない。でも、若いうちは矛盾することに神経質になりすぎたり、無理に調整しすぎたり、

うとして、かえつてそれを恐れる結果になり、生きることにとかく消極的になったり、人生を後向きに考えたりしがちです。また、多様化社会の名のもとに、表面だけつじつまを合せ、多少軽薄に、一見明るく振舞おうとする最近の考え方では、漠然とした不安がいつも胸の奥底にくすぶつていて、新しい次の時代をきり拓くエネルギーとはならないでしょう。

### 責任ある行動を

H III F 千葉多喜夫



入学試験を前にしての卒業式では喜びが半減したと思ふが、今後は親や学校の監督をある程度離れる第一歩を踏み出したことにお祝い申し上げます。

「卒業」は同時に新しい「門出」の日でもあるが、一人前には程遠く、当分は親の顔をあてにしなければならぬでしょう。

これから先の生活では楽しい事、苦しい事が待ちかまえているし、思い切つた行動も自分の責任でやってみなければならぬでしょう。一歩した無分別な行動で狂わしてしまふようなことは絶対にしない下下さい。今後の活躍を期待しています。

「二十一世紀へ」という声次第に高くなりつつあります。君たちが一人前として本心に社会に認められ、各々がその実質的な人生を創り始めるとき、新しい世紀が始まります。



〔送 辞〕

29期生の皆様は今、本校での過ぎ去った歳月に思いを馳せたいらっしゃることと思います。振り返ってみると、皆様は、クラブ活動において、数々の輝かしい成績を収められ、また、文化祭・体育祭・クリスマス・タフローを通じて、私達に、創造の喜びや団結の大切さを教えて下さいました。これからは、皆様から教わった事を基に、良き伝統を継承し、更に発展させるよう精一杯努力して参ります。

現在、科学技術が目覚ましく発展する一方、世界には未解決の問題が山積し、日本の果すべき役割も増大しています。こうした中、世界の殆どどの国で洛星の先輩方が各方面に活躍されていると聞いております。皆様は、本校で学ばれた事を生かし、国際人として大活躍され、飛躍されることを、私達は心から期待しております。最後、皆様の御健康と、目前の難関を見事に突破されることを心からお祈りしつつ、在校生の言葉とさせていただきます。

在校生総代 中原茂樹

HⅢA 柴田一範

共通一次も終わる覚悟ができた今日このごろです。洛星に六年も通い、すっかり年をとり私も18歳になりました。めでたく卒業することになりました。ここにきて思うことは、楽しかったということにつきます。毎日共に甲子園をめざした仲間、合唱で一致団結したクラス、仲間などなど……金では買えない大きな思い出を得ることができました。満足しています。私が思うに、学校行事にはしっかりと参加し、勉強もやるのがベストです。では29期生の卒業に「乾杯」

〔答 辞〕

我々は長い洛星の学園生活で、知識の吸収と様々な活動を両立させることによって人間としての自己を磨き、自由に、強制されることなく、充実した毎日を送ることができました。これは自分自身が奮起したこともさることながら、互いの強い信頼と友情があったからであります。そして、人間社会に於て他人との人間関係を大事にして生きていることが、人間としての自己を確立することに繋がっているのだということをもっと経験したのです。つまり、「人間は一人では生きていくことができない」という人生観を持つことができたのです。困難な問題が山積している時代、とりわけ核の存在という危険な時代に生きていかなければならぬ我々「人間」は一人では生きていくことができない」という精神で己を律し前進していくつもりであります。我々は非凡にでかく生きて、今までこの洛星で学びとったことを21世紀のために役立たせることをここに誓います。

卒業生総代 井本憲志

HⅢA 岩田 恵

「新講堂へ行く途中の地下道を……」そのとたん皆の視線がさつとこちらへ集る。壇上にいるのはうちのおやじだ。地下道を地下室とまちがえたのだ。去年までおやじは生徒部長をしていて、朝礼のたびに何か迷言が飛び出し、こちらはそれをネタに後々までひやかされるので朝礼のたびにこれもひやひやしていた。これも今は思い出の一コマとなっていました。みなさん僕は卒業しましたが、これからもおやじのことをよろしくお願いします。

HⅢB 松下文雄

僕が洛星に入学した年に生まれた兄弟が、この四月から小学一年生となる。振り返れば凄然たる六年も、こうして見ると長い。この間には限りなく多くのチャンスと時間が与えられたことだろう。今、赤ん坊が小学生となった成長に比べれば、自分の成長はいか程であつたらう……？ それはそうとして、六年間無事に過ごせたことに、まず感謝したい。

HⅢB 住友 卓

洛星での生活を振り返ると、これほど環境が整って楽しく生活できる学校は他に無いのではなからうかと高校から入った私には特に感じられます(女の子のいないことを除けば)。ですからこの洛星を卒業できることを誇りに思うとともに、最後に、陰で働くおじさんであるブラザーさんに「ありがとう」

HⅢC 表 俊哉

みなさん、こんにちは。私は、今年卒業する表というものです。この機会に自分を振り返って考えてみる。現実的な考えをするようになって来たかと思う反面、いわゆる大人になっていくのかと思うと何かひっかかりも感じてしまいます。でも、時の流れは私をさへも次の世代に移そうとしていくようです。それでは、みなさん、ごきげんよう。

HⅢC 山崎俊之

思えば三年前、絶対公立高校に行く決めていたのに何かに間違いでこの学校に入学してしまった僕は、制服のポケットのあまりの小ささにふとんてしまい、まじで人生を棒に振ってしまった。あれ以来は三年で

卒業生から一言



HⅢD 清水謙司

洛星に入学したうれしさ、またそれが男子校であるという気持と複雑にからみあいが始まった高

HⅢD 奥田哲生

卒業に際して思い出されるのは何かいなと思ってい返してみると、さまざまなきっかけがあります。僕は

HⅢE 清水敬文

「寒い所やなあ。」これが入試の時の最初の感想だ

OBの先生から



私の「後悔」

卒業によせて

永井良和先生  
新聞に刷り出された共通一次の問題を見ながら、「ここはもっと丁寧に説明すればよかった」と後悔しています。皆さんのほうにも「やっぱり現社を捨てたのが間違いだった」という切実な後悔の念があるでしょう。

私は高校時代、亡くなった藤堂神父さんに倫理を教えていただきました。いい生徒ではなかったけれど、二人には「南海ファンである」という共通の傷があったので、卒業まで親しくお話をできました。「いつか一緒にナンパ球場に行こう」

洛星で過ごした日々を振り返ってみると、僕にとっではカトリックの精神にふれたような気がし、また、学校生活を過ごし、いろいろな経験を自分なりの青春のページをおぼろげながら作って良かったと思う。

HⅢF 大下直人  
洛星で過ごした日々を振り返ってみると、僕にとっでは非常に長く、そしていろいろなことをした六年間だった。まがりなりにも高

HⅢA 菊池 健  
一次で重要なのは、自分の志望大学とのかねあいを取り組む姿勢を早くから決めることでしょう。12月中旬に一通り仕上げてしまおうか、1月にスパートをかけてのりきつてしまおうか。ピークのもつていき方にも十分考慮が必要です。出来不出来はやはり三教科で決まります。初日の前日よく寝て、いかに頭がさえるかが勝負です。尚、当日会場には紺色の制服が着られており、あがることはないでしょう。

HⅢB 清森 歩  
受験してみようと思ったことを書きまわす。まず、寒い所だと聞いていたのですが、試験場はよく暖房されていて暑いくらいでした。また、受験票に

HⅢC 津田博史  
たが一次されど一次という訳で、対策は立てた方がよいが、早くから必死にやる必要はない。特に理系。英語は日頃から発音、アクセントに気をつけて音読する習慣をつけることとよいのでは。社会は定期試験や模試の度にまとめておくのと後で血をみなくて済むので、世界史は社会的流れをつかむと親しみがもてる。それと一次、二次に関係なく本は読んだ方がいいと思う。



石川康浩先生

新任の教師として何か記事を書いてほしいというのを思いついたが、と壁に目を向けるとそこには一枚の感謝状が額に入っている。日本赤十字社から贈られた献血に対する感謝状である。

思えば六年前の二月二十七日に初めて友人に頼まれて献血して以来、通算59回献血した事になる。概算の総献血量は25リットル。左腕には注射針の跡が点々と残っている。

どうして僕がこれほど献血するようになったか、というのには献血方法を正式に取り入れられる。これからは献血を続けようと思っている。

HⅢD 星野 健  
まだ一次のことを考えている人は少ないでしょうが、以下、簡単に感想を述べます。社会は難しいので、早目に始めたほうがベター。その他は冬休みからでも充分です。試験場へは早目に行き、友達と談笑していれば上がります。一旦始めれば、「気力・注意力・ずぶさ」で勝負。最大の敵は、実力不足でも、横の受験生でもなく、自分の内にある「不安感」なのです。

HⅢE 池田達雄  
共通一次は精神力の勝負で、一科目二時間のガマン比べです。本番では緊張したりしませんが、それよりも一日に数時間マークシートにとらめこして流れると疲れのめです。来年度の科目減で共一も風前の燈火ですが、君の情報など気にせず、友達につられ

HⅢF 河本正昭  
初日模試を受けるような軽い気持ちで行きましたが、いざ始めてみると、汗で鉛筆がツルツル滑る有様でした。ほとんどの大学で一次の得点は傾斜配点によつていろいろこねまわされます。ここで注意を要するのは配点の小さい教科です。配点が小さいからと言ってバカにしてしまうと、驚くほどの危険なことはないのではな

HⅢG 山崎俊之  
思えば三年前、絶対公立高校に行く決めていたのに何かに間違いでこの学校に入学してしまった僕は、制服のポケットのあまりの小ささにふとんてしまい、まじで人生を棒に振ってしまった。あれ以来は三年で

HⅢH 山崎俊之  
思えば三年前、絶対公立高校に行く決めていたのに何かに間違いでこの学校に入学してしまった僕は、制服のポケットのあまりの小ささにふとんてしまい、まじで人生を棒に振ってしまった。あれ以来は三年で

HⅢI 山崎俊之  
思えば三年前、絶対公立高校に行く決めていたのに何かに間違いでこの学校に入学してしまった僕は、制服のポケットのあまりの小ささにふとんてしまい、まじで人生を棒に振ってしまった。あれ以来は三年で

今、「アドルフに告ぐ」が好評を博している。大変な売れ行きだそうだが、「ピットラー」はユダヤ人であつた。ユダヤ人である息子、一人はドイツ領事の息子。彼らの生きざまを通して、ごく普通の人間や生活が、戦争という大きな波に押し潰されていく様が描かれている。

ごく普通の市民生活を送っている者が徐々に戦争に巻き込まれていく恐怖——核の脅威にさらされている現代の人々の心に訴えるものがあるだろう。

しかしながら、いつも思うことなのだが、異常な人気があつたものの正体は何なのだろう。確かに「アドルフ」の場合は作者の反戦への訴えが人々の共感を得ているのだろう。しかし、中には「皆が買つていくから」とか「読まないに皆に遅れるから」という理由だけで買っている人がいるはずだ。

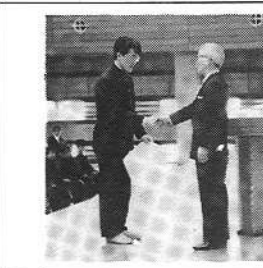
「他人よりも先に走りたい」という心理と「他人に遅れてはならない」という心理が流行をうみだす。その現象の真の姿というものをよく理解せず、自分をよくみつもせず、皆が走るから、誰もかれも走りだしてしまふ。

次々と目まぐるしく変動する流行というものにどっぷりと漬かっていると恰も時代の先端にいる気になされる。しかし、これほど危険なことはないのではな

いか。手塚氏は、ドイツ無条件降伏のニュースを聞いた時、「くやしい。正義が負けてしまった」と思つたそうである。軍国少年だったのだ——「恐ろしいことだ」と彼はテレビ番組のなかで語っていた。

流れに巻き込まれないよう、しっかりと立っていたいものだ。

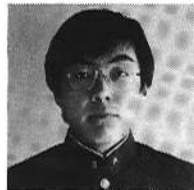
ある。当時高2だった僕は、大学進学で将来どのような職業に就こうか考え始めていた。教師(又はそれに準ずる職業)というのは小学生の頃から心にあったらしく、中学入試の面接で将来教師になりたいと答えたのを覚えている。だから教師志望というのには動かし難いものだった。ただ、母が十一年余り病院通いをしていた事もある。医者になつてという夢も持っていた。この夢は僕の成績と父の失業による貧窮によつて空しく失ってしまった。そして医者になるのは数多くいる医学部志望の友人に任せて僕はサポーターとして献血でもしようと思つた。そういう意味で、僕の献血には二十四期の医学部に進学した友人への期待が込められていた。





# 前期をふり返って

## 前期高校生徒会長に聞く



中原茂樹  
前期生徒会長

学校行事関係以外については何をやっていいのかよく知らない、という人が意外と多い生徒会。新聞局ではこのような疑問に答えを見いだすべく、生徒会の頂点に立つ前期生徒会長に質問を試みた。これを機会に少しでも生徒会というものに関心を持って頂ければ幸いである。

での文化祭となることを考慮し、クラスの増加に対応するための新企画を設置する。②文芸の動きを皆さんによく知ってもらい、各自の文化祭への関心を高めるの二点です。

早いもので、今年度もあと一ヶ月余を残すのみとなりました。そこで、来年度以降への橋渡しの意味も含めて、前期の生徒会活動、特に文化祭について振り返ってみようと思います。

①については、御存知のように、小講堂と視聴覚教室に於いて新企画が実現しました。何分初めての経験であるため不手際もありましたが、たいへん御好評を頂き嬉しく思っています。

このような新企画が皆さんの積極的な参加により成功したことは、今後の文化祭に明るいものを感じさせます。なほ、ここでは反省点の

ごと一部しか書けませんが、反響レポートを作成しましたので、特に来年度文芸をする人はそちらの方を参照して下さい。(中三の時、文芸に入ってからでは文芸に入れないというようなどとは決してなく、現に毎年そのような人の数が増えています。参加希望者は前期生徒会の成立後に、どんな申し出て下さい。)

さて、僕は三年間生徒会活動をしてきたわけですが、その間、日常の学習やクラブ活動とは違った経験ができた。いろいろな勉強になりました。どうか皆さんも、ぜひ洛星に入ってから、この絶好の場を利用して下さい。期待しています。

### 局 説

最近のわれわれ洛星の生徒の一部の態度には恥ずべきものがあるように感じられてならない。

去年投書があったとき、乗物の中で老人がそばに立っていても席を譲らず、他の乗客に注意されても譲るところからかえって拒絶したという。確かにバス内で観察してみると、他の乗客が列をつくって並んでいるというのにバスが来るとスッと先頭に割り込み、満員の車内では席があくと真つ先に座る。ひどい者になると菓子を食べる。制服においてもしっかりである。ホックや第一ボタンまではずしたり、色物のシャツやセーターを見せて平気であったりする。

いま世の中で中等高等学校における校則の厳しき、非人間性をジャーナリズムが問題としているが、それはな自己主張をしたいのなら、

高校生になると特にそのような世間の目を意識し反撥する(それとも生来のずぼらからというものもあるだろう)者もいるのである。しかしその考えはあまりにも幼稚すぎるとしか言いようがない。そのよう

な自己主張をしたいのなら、高校生になると特にそのような世間の目を意識し反撥する(それとも生来のずぼらからというものもあるだろう)者もいるのである。しかしその考えはあまりにも幼稚すぎるとしか言いようがない。そのよう



高校生になると特にそのような世間の目を意識し反撥する(それとも生来のずぼらからというものもあるだろう)者もいるのである。しかしその考えはあまりにも幼稚すぎるとしか言いようがない。そのよう

高校生になると特にそのような世間の目を意識し反撥する(それとも生来のずぼらからというものもあるだろう)者もいるのである。しかしその考えはあまりにも幼稚すぎるとしか言いようがない。そのよう

# 話のくずかご⑥

## 狼の少年マンガ考①

少年漫画誌と言われる雑誌がある。「ジャンプ」「サンデー」等と略称され、駅の売店に必ず売っており、床屋で客の暇つぶし用によく置いてあるアレである。「マンガはくだらない」という意見をよく耳にするが、その良し悪しはともかく、それ自体で一つの文化ないしはメディアを形成している事は確かである。まず「少年漫画」について素人目で観察してみよう。

週刊誌の中で何がウケているかと言うと、「努力」「友情」「正義」等を念頭に置いて「ジャンプ」のヴァイオレンス・アクション物なのだ。肉体的戦闘的、卓越した能力を持つ一種の「超人」達が暴力を振る悪者を叩きのめす。昔からあるパターンであり、先の展開が或る程度推測出来る作品も少なくないのに、こ

うと、現代は、それだけ絶対的な「正義」が一例えそれが多分に独善的傾向を含んでいるにせよ、切実に求められている時代なのかもしれない。だが、それを読んで育った幼い子供達が、その手の「勧善懲悪思想」を身に付けたとすると、少し不安な気もする。

二つ目は、やはり都会人の軟弱化。よく言われる事だが、現代の子は昔に比べて弱くなった。小さい頃から、受験競争の波を乗り切らねばならぬ。これはその様な設定だ。これはその頃、或る意味で、現在よりも少年がシラケ文化に毒されていなかった、少々異い表現をする、血が熱かった「世代」だから、そして、学園闘争の渦を巻き起こすだけの動的なエナジーを持った時代だったからこそ、熱血ブームは生まれたと言え、それに対して現在のヴァイオレンスはちよつと違う。「正義」を前面的に押し出したが故に、生半可な「許し」では読者が納得しなくなったのだ。逆に言

の手合のものが売れるのはどういうワケなのか。その一つには、世相の反映が挙げられるだろう。かつて「熱血物」が一世を風靡した時代があった。相手が不良でも、ガリ勉学生でも、ともかく「友情」と「努力」を売り物にすれば、必ずしもわかりあえるという様な設定だ。これはその頃、或る意味で、現在よりも少年がシラケ文化に毒されていなかった、少々異い表現をする、血が熱かった「世代」だから、そして、学園闘争の渦を巻き起こすだけの動的なエナジーを持った時代だったからこそ、熱血ブームは生まれたと言え、それに対して現在のヴァイオレンスはちよつと違う。「正義」を前面的に押し出したが故に、生半可な「許し」では読者が納得しなくなったのだ。逆に言

うと、現代は、それだけ絶対的な「正義」が一例えそれが多分に独善的傾向を含んでいるにせよ、切実に求められている時代なのかもしれない。だが、それを読んで育った幼い子供達が、その手の「勧善懲悪思想」を身に付けたとすると、少し不安な気もする。

二つ目は、やはり都会人の軟弱化。よく言われる事だが、現代の子は昔に比べて弱くなった。小さい頃から、受験競争の波を乗り切らねばならぬ。これはその様な設定だ。これはその頃、或る意味で、現在よりも少年がシラケ文化に毒されていなかった、少々異い表現をする、血が熱かった「世代」だから、そして、学園闘争の渦を巻き起こすだけの動的なエナジーを持った時代だったからこそ、熱血ブームは生まれたと言え、それに対して現在のヴァイオレンスはちよつと違う。「正義」を前面的に押し出したが故に、生半可な「許し」では読者が納得しなくなったのだ。逆に言

# チャリティーコンサートのお知らせ

第28回チャリティーコンサートの日程、曲目が定まりました。お知らせします。日時 4月12日(土) 6:30開演 於 ヴィクトリア会館

曲目  
ブラームス  
交響曲第2番  
チャイコフスキー  
「ロメオとジュリエット」

昨年度のチャリティーの収益金九四七、九五一円は、施設「希望の家」とカンボジア難民救済会に贈らせていただきました。今年も、チャリティーに向け、部員一同はりきって皆様様の御協力をお願いします。

そして、食事のことはそれくらいにして、続いて恒例(だそう)の生徒アトラクション。ここの司会者は各クラスの卒業委員である。アトラクションは各クラスの合唱が中心であった。Aクラスは、M君が紛する「スケバンデカ」がバカ受け。M君は女装して熱唱

洛星高等学校第29期卒業記念パーティ

ボランティアから  
木曜日の宗教研究活動の中にボランティアグループというのがあるのはご存知でしょう。そのいくつかの活動の中で使用済切手の収集があります。

ボランティアから  
木曜日の宗教研究活動の中にボランティアグループというのがあるのはご存知でしょう。そのいくつかの活動の中で使用済切手の収集があります。

ボランティアから  
木曜日の宗教研究活動の中にボランティアグループというのがあるのはご存知でしょう。そのいくつかの活動の中で使用済切手の収集があります。

ボランティアから  
木曜日の宗教研究活動の中にボランティアグループというのがあるのはご存知でしょう。そのいくつかの活動の中で使用済切手の収集があります。

ボランティアから  
木曜日の宗教研究活動の中にボランティアグループというのがあるのはご存知でしょう。そのいくつかの活動の中で使用済切手の収集があります。

ボランティアから  
木曜日の宗教研究活動の中にボランティアグループというのがあるのはご存知でしょう。そのいくつかの活動の中で使用済切手の収集があります。

# ANGLE 32

## ⑨ 柔道部

28期生の高校進学、森住先生の顧問就任とともに隆盛期となった高校柔道部も来年度の京都府高校総体では上級の部へのチーム編成が不可能ではないかと危惧されており、残念ながら活動は必ずしも活発とは言えない状態ではある。

部員構成は中学の人材不足もあり、例年高校から入学した諸君や、中学でやっていたクラブをやめて、新たに入学して来る諸君達が多数を占めている。高校から入部しても、そこそこ体ができていて、練習にも参加していただければ、高校二年のおわりまでには黒帯を手にしている。中二、中三からでも希望者はほとんど入部して欲しい。練習は水曜日、金曜日のみ行っており、短時間に密度の高い練習が要求されているが、現存は高一からの新生を中心に和気藹々と練習を行っている。

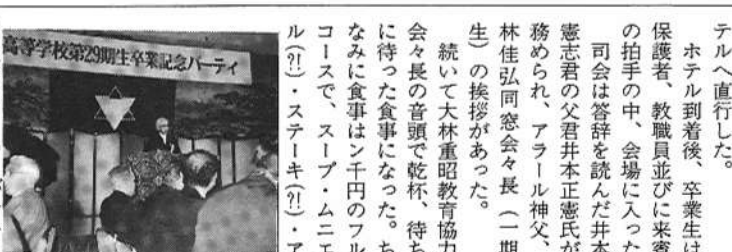
柔道部



ボランティアから  
木曜日の宗教研究活動の中にボランティアグループというのがあるのはご存知でしょう。そのいくつかの活動の中で使用済切手の収集があります。

ボランティアから  
木曜日の宗教研究活動の中にボランティアグループというのがあるのはご存知でしょう。そのいくつかの活動の中で使用済切手の収集があります。

ボランティアから  
木曜日の宗教研究活動の中にボランティアグループというのがあるのはご存知でしょう。そのいくつかの活動の中で使用済切手の収集があります。



洛星高等学校第29期卒業記念パーティ  
去る二月七日、卒業式に卒業記念パーティが行われた。H河本元局長のレポートをお届けします。

洛星高等学校第29期卒業記念パーティ



